

M.E.さん  
(2009年3月アンケート記入)

#### 留学先について

学校名：Universidad Nacional Autonoma de Mexico (UNAM：メキシコ国立自治大学)

専攻：スペイン語文学

課程：博士課程 / 交換留学

留学期間：2008年2月～2009年2月

#### 留学の動機

なぜメキシコに留学しようと思いましたか？なぜ他のスペイン語圏ではなくメキシコを選びましたか？

私は2度メキシコに留学しました。1度目は修士課程在籍中、今回は博士課程在籍中での渡航でした。まず、1度目にメキシコを選んだ際の決め手となったのは、日墨研修生・学生等交流計画の存在でした。奨学金の給付が受けられること、ビザおよび滞在許可の手続きを代行してもらえることが魅力でした。ラテンアメリカ文学を専攻していましたが、メキシコを留学先に選んだこともあって、1度目の留学ではメキシコの作家をテーマにしました。2度目の今回は、1度目に選んだテーマについての研究を深め、論文を執筆するための文献資料を収集するために、留学を決めました。

#### 留学前の準備期間

留学を思い立ってから実際に現地に出発するまでどのくらいの準備期間が必要でしたか？

留学に向けて具体的な行動を起こしてから出発するまでに、1年弱の時間が経ちました。具体的には、メキシコ政府奨学金の募集要項が公示された2007年春頃から受入れ先機関とのコンタクトをとり始め、7月に入学許可を得ました。8月に奨学生選考の面接を受け、合格が決まった後、1月にビザの取得を済ませ、2008年2月に渡航しました。

#### スペイン語の勉強方法

日本でスペイン語をどのようにして勉強しましたか？どの勉強方法が一番効果的だったと思いますか？

日本の大学では、文法の授業のほかに、会話・作文・講読の授業を多数受講しました。スペイン語を母語とする先生の授業をできる限りたくさん受講するのが効果的だったと思います。その他に、スペイン語圏からの留学生とスペイン語と日本語の交換授業をしたことも、とても役に立ちました。

#### 情報収集方法

どのようにして情報を得ましたか？

メキシコ政府奨学金プログラムについては日本学生支援機構およびメキシコ外務省のホームページ、受入れ先を探すためには現地の大学の教育機関のホームページを参考にしました。また、以前メキシコに留学した経験のある、大学の先輩方に話を聞くことで、手続き上難しかったことや渡航してからの様子などを知ることができました。

#### 現地の学校への問い合わせ

学校へはどんな手段で連絡を取りましたか？その際に困ったことはありましたか？それをどのように解決しましたか？

受入れ先機関を探すために、まずE-mailで現地大学の留学生課に連絡を取りました。第一希望の大学からは返事がなく、電話で問い合わせをしましたが、「必要な手続きについて調べてこちらから連絡する」と言われ、しばらくしても連絡がないという状況が続きました。3度目にかけた電話でも同じ調子だったため、別の方法を考えました。2度目の留学だったこともあり、幸い現地に知り合いがいたので、その人を通じて、指導をしていただける可能性のある教授の連絡先を教えてもらい、教授に直接E-mailを送ったところ、受入れを快諾して下さいました。教授の受入許可書が手に入ったと

ころで再び留学生課に E-mail を送ると、今度は数日のうちに大学側からの正式な入学許可書を得ることができました。

### 出願

出願時にどのような書類をどこに提出しましたか？書類を準備する上で苦労したことはありましたか？それをどのように解決しましたか？出願から正式な許可書を受けとるまでに、どのくらい時間がかかりましたか？

大学側の入学許可書を入手するには、上の「現地の学校への問い合わせ」に書いたような段階を踏みました。かかった時間は、1ヶ月強でした。メキシコ政府奨学金試験に応募する前の段階で、大学に提出するために必要だった書類は、指導教官の受入許可のみだったと思います。

その他に、奨学金の試験を受けるために提出したのは以下の書類でした。

1. 出願書 2. 誓約書 3. 入学許可書 4. 研究計画書 5. 経歴書 6. 高校卒業証明書（スペイン語訳を添付）7. 大学以上の学業成績証明書および卒業証明書、大学院在学証明書 8. 戸籍抄本 9. 健康診断書 10. 語学能力証明書 11. 写真

### 出願・入学資格

現地で入学試験を受けましたか？どのような教科の試験を受けましたか？

現地では特に試験はありませんでした。

### 滞在許可の取得(日本での取得と現地での状況)

どのような滞在許可をどのような方法で取得しましたか？

まず、出国前に駐日メキシコ合衆国大使館で学生ビザを取得し、メキシコに入国してから現地の移民局で外国人登録をしました。

(B)申請時に提出を求められた書類にはどのようなものがありましたか？申請料はいくらでしたか？

申請から取得までどのくらいの日数がかかりましたか？

メキシコ政府奨学金の留学生として留学する場合の学生ビザの申請には、駐日メキシコ合衆国大使館のホームページに書いてある必要書類のほかに、メキシコ外務省からの正式な受入れ許可書類（奨学生の身分・留学先の機関が明記してあるもの）が必要でした。そのために、駐日メキシコ合衆国大使館文化部の奨学金係と何度もやりとりをしました。書類を提出してからビザが発行されるまでにかかった期間は10日くらいでした。

メキシコで外国人登録に必要な書類は、「正面・横顔、ピアスやメガネなどをすべて外す」などの条件を満たしている写真（移民局の近くで撮影できる）、メキシコで身元を保証する人2名の住所・氏名が記載されている申込書、学生ビザ、パスポート、登録料（移民局で振込用紙を受け取り、銀行で振込み、その証明を提出）でした。移民局の案内カウンターで必要書類のリストをもらうことができます。書類を提出してから、登録が完了して再び学生ビザを受け取るまでには、1ヶ月以上かかりました。登録料は700ペソ弱かかりました。

### 保険・医療・予防接種

どのような保険に入っていましたか？保険料はいくら払いましたか？留学先が指定した保険に入りましたか？日本でどのような予防接種を受けましたか？

保険は、日本の保険会社の「留学生特約」というタイプに入っていました。障害死亡、障害後遺症、治療・救援費用（現地の提携病院でのキャッシュレス診療が受けられる）、疾病死亡、賠償責任、留学生生活用動産の保障、航空機帰宅手荷物、航空機遅延の保障を含むものです。保険料は、12ヶ月で14万円弱でした。

留学先からの保険の指定は特になく、国費留学生として、メキシコの医療保険 IMSS（メキシコ社会保険庁（IMSS）が運営する公的な総合医療保険）に加入する特典がついていましたが、それを使って治療を受けたことはありませんでした。

予防接種は、破傷風、肝炎（A型・B型）、腸チフス、ポリオを受けました。肝炎は、3度目の予防接

種をメキシコで受けました。複数回受けなければならない種類もあるので、早めに準備するとよいと思います。

### 学校生活

現地の授業と日本の学校の授業の進め方に違いはありましたか？教授・先生の教え方や授業内容に満足していましたか？

現地の授業は、日本に比べて学生の発言が多いという違いがあります。また、課題として読む本・文献の量もかなり多いように思います。教え方、授業内容についてはとても満足していました。

授業の準備はどのようにされましたか？予習・復習にどの程度時間をかけましたか？日本で学んだ語学力は充分でしたか？

課題として与えられた文章を読み、余裕のあるときには前もってメモを作って授業に備えていました。課題の量が多かったこともあり、予習・復習には1コマの授業(2~3時間)につき、4~5時間かかりました。語学力は不足していましたが(特に1度目の留学時)、クラスメイトの協力もあって少しずつ向上しました。

授業以外に勉強する際、どんな場所を利用しましたか？学校の施設は充実していましたか？

自室、大学の図書館、近隣の公立図書館を利用しました。

大学には各学部と研究棟に図書館があり、場所によっては周囲の人たちのおしゃべりでうるさいという難点がありますが、蔵書は充実しており、自習スペースも広く、またコピーが館内でできたのはとても便利でした。インターネットについては、大学構内は無線LANでつながるようになりましたし、中央図書館にはインターネットを利用できるコンピュータールームもあります。カフェテリアも複数あり、ほかにも大学キャンパス内には、美術館や劇場、コンサートホール、映画館、運動場、スーパーなどの施設もあります。

試験はどのように行われましたか？試験対策はどのようにされましたか？

私が受講したゼミには試験はなく、授業の評価は学期中のプレゼンテーション、学期中・学期末のレポート提出で行われました。

プレゼンテーションスキルやレポート(エッセイ)作成の際の文法チェックなどの語学サポートは大学で用意されていたか？用意されていない場合は、どのように対応していましたか？

テクニカルな面のサポートは特にありませんでした。(希望すれば、学部生向けに開講されている授業の中から該当するものを探して受講あるいは聴講するというのも可能なのかも知れませんが、大学院の授業に関しては、そのようなものはありませんでした。)

レポートのスペイン語チェックは、現地の友人に頼んでしてもらいました。

学校全体やクラスで、留学生の割合はどのくらいでしたか？留学生の中で、日本人の割合はどのくらいでしたか？

授業によって異なり、自分以外はメキシコ人の学生のみという授業(メキシコ詩)もありましたし、留学生が一番多かった授業(ラテンアメリカ前衛文学総論)では、20人弱の受講生の中で5人が留学生ということもありました。

クラス外の活動に参加しましたか？どのような活動をしましたか？

クラス以外の活動には参加していません。

現地の学生とどのようにして交流を深めることができましたか？大変だったことはありましたか？

同じ授業に出て同じ苦労を味わった友人たちとは、交流が深まるのが早かったように思います。また、メキシコの場合、友だちの友だち、というだけでも十分知り合いの輪を広げていくきっかけになります。

日本人留学生とどのように接していましたか？大変だったことはありましたか？

特に日本人を探す、あるいは逆に避けるということはありませんでした。日本人同士では、言葉が通じ、文化的背景が同じだということもあって、普段の付き合いのほかにも、困ったときに互いに助け合うということが多かったように思います。

他国の留学生とどのように接していましたか？大変だったことはありましたか？指導教官とのやりとりで大変だったことなどはありましたか？

他国の留学生とは、現地の学生と接するのと同じように接していましたが、違いがあるとすれば、外国人留学生としての大変さを共感したことや、手続きなどの情報交換をしたことなどが挙げられます。指導教官とのやりとりで大変だったのは、先生が多忙な方だったために面談の予約を取るのに苦労したことです。

日本で得ていた情報と食い違っていたところはありましたか？

特にありません。

### 宿泊施設

到着後初めに選んだ宿泊施設は何でしたか？どのようにして宿泊施設を探しましたか？

知人（メキシコ人）宅の一室を間借りしました。食事や掃除・洗濯をはじめ、生活自体はすべて独立しており、いわゆるホームステイではありません。1度目のメキシコ滞在の途中から、授業で知り合った人の家に間借りをしていたのですが、立地条件や部屋がよかったので、今回の2度目にも同じところに滞在しました。

トラブルはありましたか？その際、どのように対処しましたか？

トラブルは特になく、台所の手入れや音楽の音量などについて、互いに気づいた点があったときには、すぐに話をして解決しました。

### 現地の食事情

普段はどのように食事をされましたか？現地の食事・食材で苦労したことはありましたか？日本の食材を手に入れることはできましたか？

朝晩は自炊し、昼は学校あるいは近所の食堂で食べていました。外で食べるとあまり野菜が取れないので、自炊するとき心がけて野菜をとるようにしていました。

日本の食材については、米、醤油、カレーなどはスーパーでも売っていますし、何件かある日本食材店に行けば、高価ではありますが、調味料、生鮮食品からお菓子まで、大体のものが購入できます。

### 留学費用・お金の送金方法・管理方法など

学費(+諸経費)はいくらでしたか？またどのような支払方法が便利でしたか？

学費、諸経費はすべて奨学金でカバーされました。

学費以外の生活費(住居費、食費、光熱費、教養・娯楽費など)は、1か月または留学期間全体の金額を教えてください。

生活費は、1ヶ月当たり6,000ペソ程度でした。全般的に日本よりも安いのですが、本の価格が高いのが学生にとっては痛手です。また最後に荷物を日本に送る際に出費がかさみました。郵便局でも運輸会社でも、輸送量は米ドルで計算されるので、価格は為替レートによって変動します。

お金をどのように管理していましたか？日本からの送金が必要な際、どのように送金してもらいましたか？

奨学金は現地の銀行口座に振り込まれるので、そこから引き出して利用していました。また、予備のため、日本の銀行で現地通貨を引き出せる口座を作り、そのカードを持っていきました。

## 医療

現地で病院にかかれたことはありますか？大学内の医務室や付属病院で医療サービスを受けることは可能でしたか？

加入していた保険会社と提携がある、日本人医師のいる病院に数度かかりました。大学内にも医務室や病院がありますが、利用したことはありません。

## 現地での各種相談先 / 支援組織

相談先の案内は事前に知らされていましたが？学校内・学校外で問題があったとき、誰に相談しましたか？住居などについて支援を受けられるような学生互助会（自治会）などはありましたか？その支援を受けましたか？

大学には留学生課があり、手続きなどの問題・疑問があったときはそこへ行きました。ほかに問題があったときは、現地の友人・知人に相談しました。

## 治安

現地の危険地帯情報をどのようにして収集しましたか？現地でどのような防犯対策をしていましたか？盗難などを含む犯罪に巻き込まれたことはありましたか？その際どのように対処しましたか？

現地の危険地帯情報は、現地の知人・友人を通じて得ていました。必要最小限のものしか持ち歩かないこと、夜は一人で歩かないことなどを心がけていましたが、一度ひったくりの被害に遭い、軽い怪我を負ってしまいました。警察に被害届を出し、盗難被害については、保険会社から保障を受けました。また、それからは以前に増して安全に気をつけるようにしました。周りの様子に気をつけていることを態度で示すことや、怪しい人がいたら距離を確保することなども大切です。

## 通信関連

パソコン、携帯電話、インターネットなどの現地での利用はいかがでしたか？

パソコンは日本から持って行きました。携帯電話は、プリペイドカード式のものを現地で入手して使用しました。インターネットは、住んでいた家の無線 LAN 接続を利用できました。インターネットカフェはメキシコシティのあちこちにありますが、すべての場所で日本語が使えるとは限りません。

## 帰国後の進路

現在の所属をお知らせ下さい。

大学院博士課程在籍中です。

あなたの留学経験は現在の仕事・学業にどのようにいかされていますか？

現地で学んだ知識・語学力を活かし、収集した資料を用いて、博士論文を執筆しています。

## 後輩へのアドバイス

これまでの留学準備と留学生生活を振り返って、「日本にいる間にしてあげれば良かった」と思うことはありますか？

外国では日本のことを聞かれることが多いので、自国の歴史・文化について理解を深めてあげれば良かったと思いました。

留学生を送る際の注意点と、これから留学を考えている後輩への助言をお願いいたします。

健康・安全が確保されていれば、あとは心がけ次第で充実した留学生生活を送ることができるので、何よりもまずその2つを守ることが大事だと思います。日本人留学生との付き合い方に悩む方もいるかもしれませんが、言語や文化を共有する友人として大切な存在でもありますし、自分なりにバランスを見つけることが大切だと思います。

また、留学前でも留学中でも、何か疑問や問題があるときは何でも遠慮せずに誰かに聞いて、解決への第一歩を自分で踏み出すことが大切だと思います。自分から求めなければ何も解決しませんし、逆

に、積極的に求めていけば、（特に、柔軟性のあるメキシコの場合は）希望通りになるのは無理かもしれないと思っていた問題が解決する場合もあります。